

# 事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目		国際スポーツ会議開催事業	
助成事業者名		公益財団法人日本卓球協会	
事業名		JTТАスポーツ医科学委員会国際会議2019	
事業の成果		2014年から医科学研究の交流を通じて国内研究者の国際化を図るとともに日本がこの分野で国際的に指導力を発揮し先導を果たすことを目的に開催してきた本会議であるが、本年を最後の開催としてこれまでの集大成も目標に行った。本年の成果として、インド、中国、シンガポール、およびイランなどから6名の新しい研究者を招待し、海外研究者との国際的ネットワークを広げられたこと、シンポジウムを通じてスポーツ障害予防やメディカルサポートの重要性が確認されたこと、2名のJTТА若手委員が座長として円滑に議論を主導するなど国内研究者の英語によるディスカッション能力の向上が見られたことなどがある。国際卓球連盟（ITTF）スポーツ医・科学委員会（SSMC）委員12名中8名が参加し、参加者数は実人数で過去最高の53名となった。今後、外国人研究者との共同研究やITTF内の関連委員会のポスト維持・獲得などの成果が現れることが期待される。	
事業に対する評価		台風の影響による海外研究者の来日の遅れが懸念されたものの、結局参加に影響することもなく、会議はスケジュール通りに進行し、予定された内容を全て消化、終了した。参加した国内研究者およびITTF SSMC委員を含む海外招待研究者からは、会議の内容のみならず運営についても高い評価を得た。とりわけ何らかの形で会議の継続を望む声が多数あったことは、本会議が高く評価されたことの証と考える。本年は日本人研究者が行ったポスター形式の発表にミニ口頭を追加して、ポスター発表におけるディスカッションがさらに深まることを期待した。この試みは成功し、1時間の予定時間を過ぎてディスカッションが続く状況であった。	
実施した事業の内容	開催期間・開催日	2019年9月14日～2019年9月15日	
	開催場所	東京都北区味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室	
	出席者の範囲	国際卓球連盟スポーツ科学&メディカル委員会委員長・委員、各国卓球協会スポーツ科学&メディカル委員会委員等、日本卓球協会スポーツ医・科学委員会委員等	
	主な議事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>ITTF科学&amp;メディカル委員会 委員長によるkey note lecture（パーキンソン病患者に対する卓球の治療効果）をもとにした討論</li> <li>「ラケットスポーツにおける障害予防とメディカルサポート」をテーマとしたシンポジウム</li> <li>JTТА理事（JTТАのSSMC前委員長）によるこれまでの6回の会議を総括する特別講演</li> <li>スポーツ医科学研究の発表と質疑応答：スポーツ医学、スポーツ心理、スポーツ栄養、スポーツ科学の各分野について、国内研究者から8件、海外研究者から9件の研究発表があった。国内研究者の発表はミニ口頭発表とポスター形式で実施した。</li> </ol>	
	組織運営体制 関係機関との連絡体制	日本卓球協会（JTТА）は、例年通り会議の主催者として全ての面で主導権をとることにこだわった。ITTFではなく、JTТАが企画し、海外からの研究者を招聘、会議プログラムを策定して会議を開催することに意義があると考え、その全てをJTТАスポーツ医・科学委員会が担当した。勿論、ITTFとは十分なコミュニケーションをとり、日本の国際的プレゼンス確保の面で会議の成果が最大限現れるよう努力した。海外から招待した研究者の入国からホテルまでの送迎、滞在中の諸事対応、会議当日の進行、討論の管理そのすべてを委員会委員とボランティアが担当した。	
事業計画及び実績		年度当初計画	実績
	参加国・地域数	13 か国	11 か国
	延べ参加者数	60 人	101 人
	運営スタッフ数（ボランティア含む）	20 人	20 人
情報公開	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の用途に関する情報の公開	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他（ ）※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。	
	公表した内容（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） <input type="checkbox"/> 助成金の用途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） ※上記いずれかの公表が必要です。	
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法 関係者にアンケートを実施した
備考			